

フジの回廊

フジの展示は手の込んだもので、フジの花を最も効果的に見せる藤棚でつくった長さ 170 メートルに及ぶフジの回廊（長藤棚）が見どころです。藤棚いちめん垂れ下がる優美なフジの花は、藤棚の端から端まで途切れることなく広がる紫や白のカーテンになっています。こうした色鮮やかな花は 4 月下旬から 5 月上旬までが見頃です。

ここには紫のほかにも、白、ピンクのフジや八重咲きのフジも展示されており、典型的なフジといえる紫のフジの展示にバリエーションをつけています。こうしたフジの展示方法は塚本こなみ理事長が考え出したもので、その一部は、盆栽、庭木仕立て、鉢仕立ての方法で展示されています。

はままつフラワーパークはフジの開花期間中、夜も開園しており、入念に配置された照明でフジの花をライトアップしています。このような革新的な展示方法は、たゆまぬ改善を続けるという同園の理念を表しています。